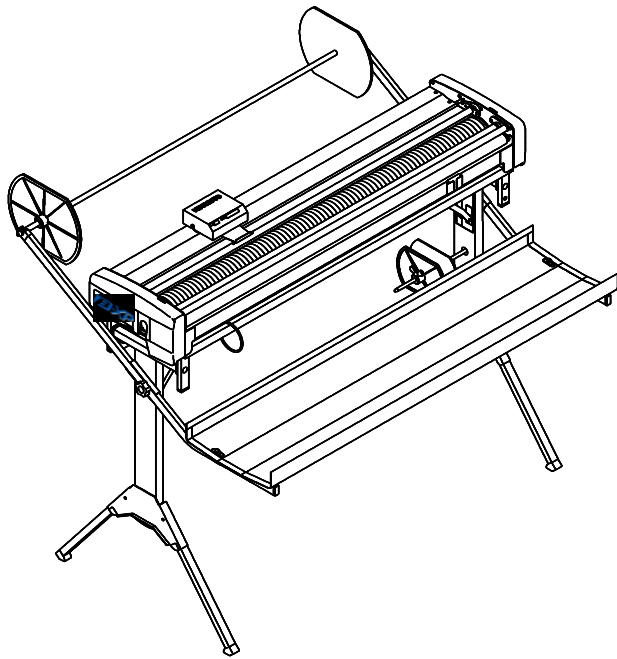




A99H110-00

軽量手動壁紙糊付機

**B-XP**



## 取扱説明書

安全にお使いいただくために、ご使用前  
に必ずお読み下さい。

この度は軽量手動壁紙糊付機「B-XP」を  
ご購入いただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただく  
ための事柄を記載してあります。ご使用前に、  
本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。

また、本機をご利用の際に本書が必要になった  
ときすぐに利用できるように、大切に保管しておいて  
ください



## お使いになる前に

開梱時には以下のものが全て揃っている事をご確認下さい。

- |               |           |              |
|---------------|-----------|--------------|
| ・糊付機本体        | ・カットテープ芯棒 | ・サイド盤 (大小2個) |
| ・取扱説明書        | ・カットテープ芯  | ・六角レンチ 2.5mm |
| ・インテリア機器登録カード | ・カットテープ   | ・六角レンチ 2mm   |
| ・カウンター        | ・ハンドル     | ・ドライバー (+)   |
| ・原反芯棒         | ・テープガイド   | ・両口スパナ 7×8mm |

品質には万全を期しておりますが、万一不足や運送中の破損等があった場合は、速やかに弊社営業所までご連絡下さい。

## 目次

安全上のご注意	1
全体外観図及び各部名称	3
作業準備	
脚部組立	4
本体部の取付	5
各部の操作方法	
ハンドルの使い方	6
カバーの開閉	6
カバーの外し方	6
糊付作業要領	
作業準備	7
糊付作業	8
カウンター取付けステーの位置調整	8
ダブルカウンター	9
カットテープのセット	10
本体部の掃除	11
収納及び運搬	12
調整と点検	14
補修部品	14
仕様	14

## 安全上のご注意

手動壁紙糊付機をご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守・点検が不可欠です。以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで糊付作業を行わないで下さい。

この取扱説明書では、取り扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により △[警告] △[注意] [メ モ] という項目に分類して表示しています。

△[警告] この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

△[注意] この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

[メ モ] これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

### △警告



カバーや脚の支点、歯車など可動部分の扱いには十分注意して下さい。指を挟まれる恐れがあります。

### △注意



機械のカバーを外したり、改造したりしないで下さい。故障の原因となります。



精密機械のため落としたり、ぶつかけたり、極端な衝撃を与えないで下さい。機械の破損・故障の原因となります。



掃除をするときはワイヤーブラシ等、硬い物でこすらないで下さい。ローラーの表面に局部的な力を加えると損傷のおそれがあります。



機械の上に重いものを置かないで下さい。機械が破損したり、転倒・落下してけがの原因となることがあります。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光の当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないで下さい。機械の変形・故障の原因となります。



不安定な場所（ぐらついた台や傾いたところ）に置かないで下さい。転倒してけがの原因となったり、機械の性能が発揮できない場合があります。必ず水平な場所で使用して下さい。

## 安全上のご注意

### ⚠注意



糊付機に糊を入れたまま放置しないで下さい。ローラーが変色（腐食）することがあります。また、ローラーの上に濡れた雑巾などの異物を放置しないで下さい。変色する場合があります。



**注意**

使用後はローラー、糊桶をよく水洗いし、ステーや脚部等、糊の付着した所は、水を含ませたスポンジや雑巾で拭き取った後、乾いた雑巾で乾拭きして下さい。特に、糊が付着したローラーはよく洗って、糊をきれいに取り除いて下さい。



**注意**

定期的に各部のネジの増し締めを行って下さい。ネジがゆるんでいると異音がしたりローラーが空転します。



**注意**

設置場所には充分注意して下さい。畳の上など、柔らかい床で使用するときは、必ず丈夫な板などを敷いて下さい。機械の性能が発揮できない場合があります。



**注意**

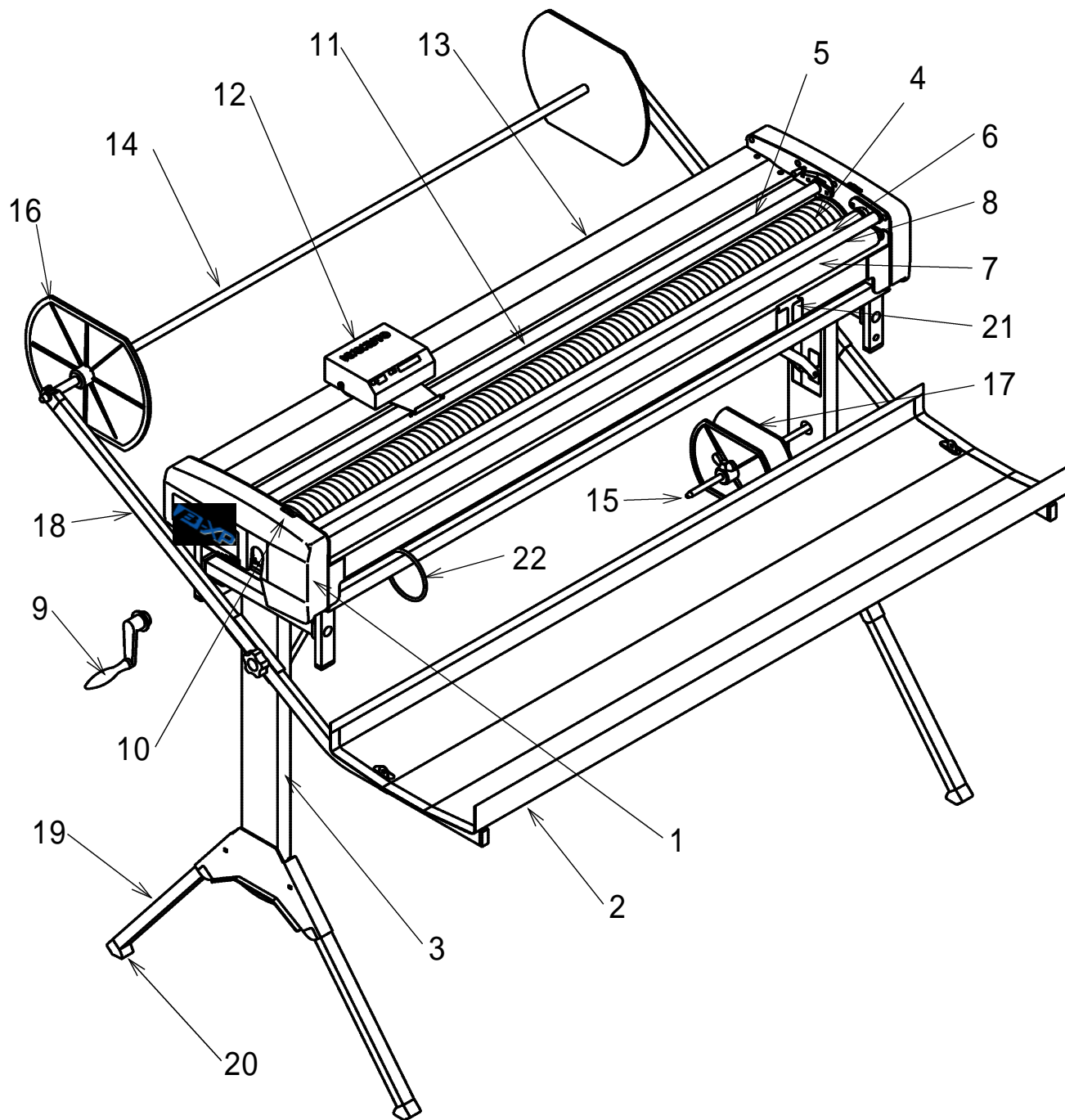
糊付作業時にはクロスを均一な速度で引き出して下さい。



**注意**

運搬時はベータバッグのベルトをしっかりと締めて下さい。機械が落下して破損したり、けがの原因となることがあります。

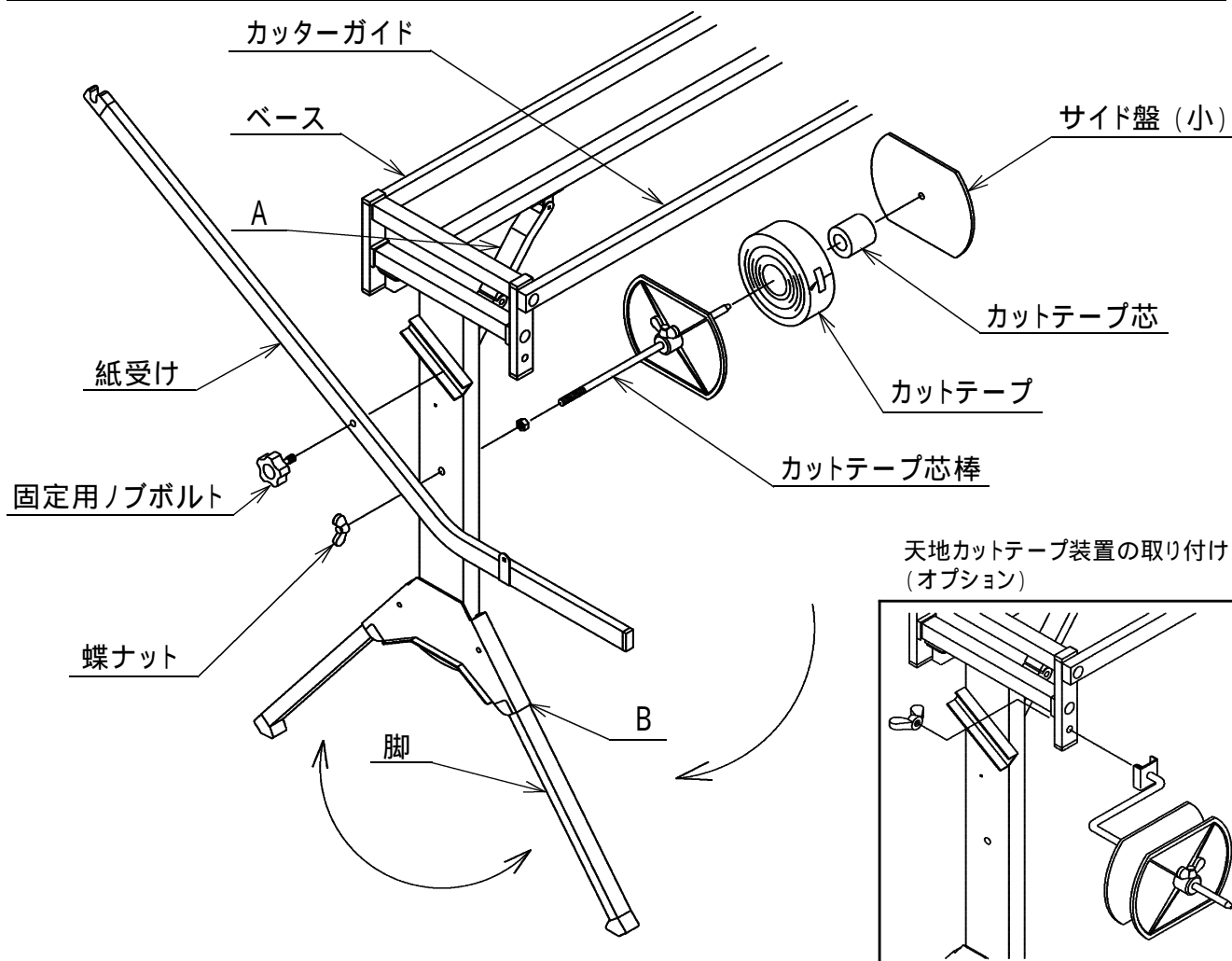
# 全体外観図及び各部名称



- |            |               |             |
|------------|---------------|-------------|
| 1.本体カバー    | 10.爪          | 19.脚        |
| 2.上蓋       | 11.カウンター取付ステー | 20.脚先       |
| 3.脚本体      | 12.ダブルカウンター   | 21.テープガイド   |
| 4.糊付ローラー   | 13.糊蓋         | 22.脚止め用Oリング |
| 5.ドクターローラー | 14.原反芯棒       |             |
| 6.ドライブローラー | 15.カットテープ芯棒   |             |
| 7.ナラシローラー  | 16.サイド盤（大）    |             |
| 8.ステー      | 17.サイド盤（小）    |             |
| 9.ハンドル     | 18.紙受け        |             |

# 作業準備

## 脚部組立



1. 脚止め用Oリングをスライドさせて脚を外し、脚本体を広げます。
2. 脚を矢印 の方向へ開きます。
3. 紙受けを脚ベースに取付け、固定用ノブボルトで脚に固定します。  
紙受けは上図を参考に取付けを行って下さい。
4. カットテープ芯棒を使用する場合は、蝶ナットで固定します。
5. 天地カットテープ装置 (オプション) を使用する場合は、上図を参考に指定の位置に取付けて蝶ナットで固定します。



**指づめ注意!**  
A部はバネで引っ張られていますので、挟まれるとケガをします。



脚を開くときは、A部やB部のすき間に手を挟まないように注意して下さい。



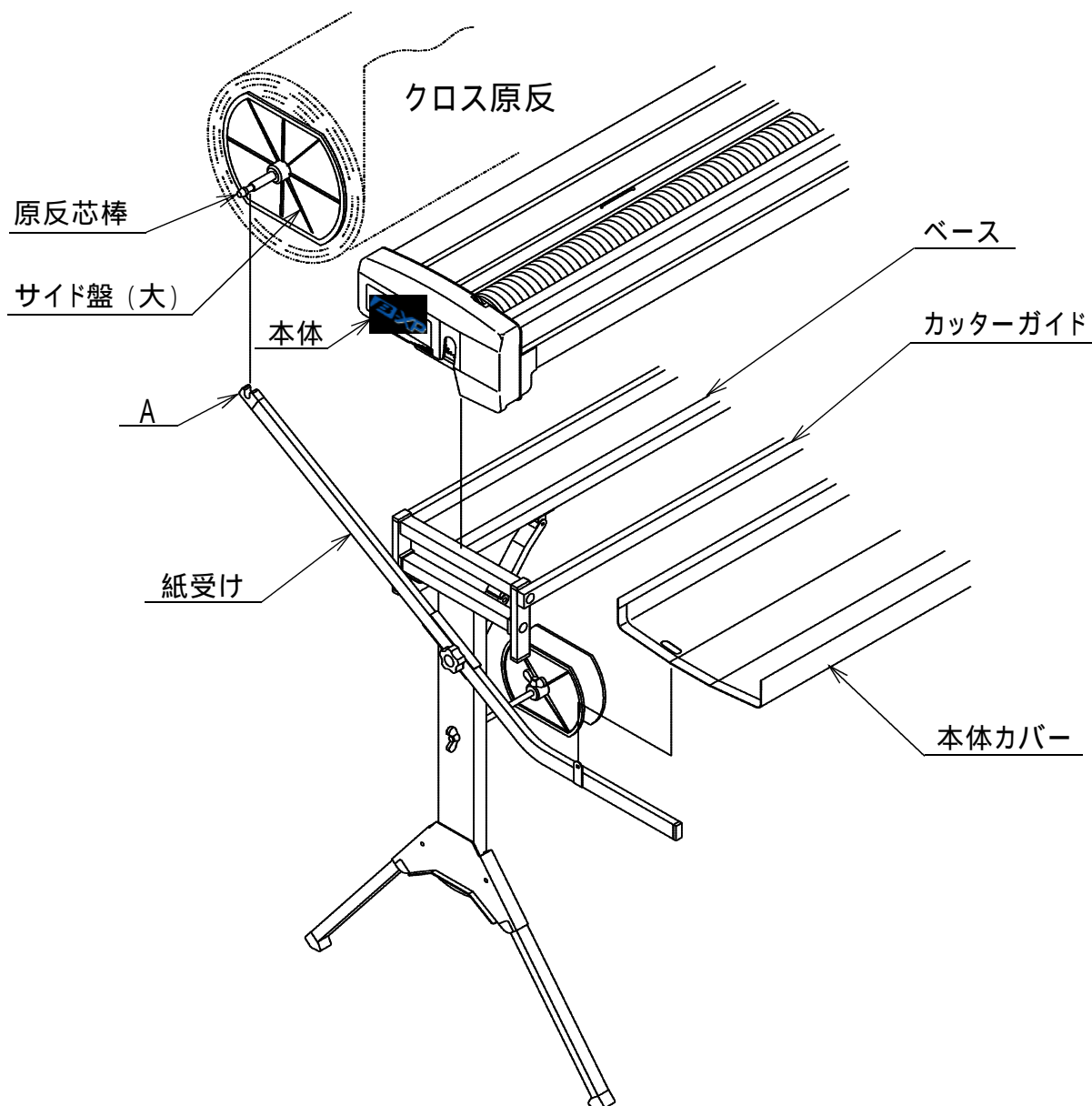
天地カットテープ装置は、糊付け、カットと同時に壁紙の天地部分にカットテープがつけられます。

### 部品内容

- ・天地カットテープ芯棒 (A454006031) × 1
- ・テープ用サイド盤 2枚組 (99-3005) × 1
- ・カットテープ芯 (99-3010) × 1

# 作業準備

## 本体部の取付



1. 脚部の上に本体を載せます。クロスの出口側が脚部のカッターガイドの方向（図と同じ向き）にセットして下さい。また、本体が脚の上に納まっている事を確認下さい。
2. 本体カバーを紙受の上にセットします。  
本体カバーに開いている長穴が、紙受の凸部にはまるように取付けます。
3. クロス原反に原反芯棒を通し、両側からサイド盤（大）で挟み込み、紙受けにセットします。原反は中央部にセットし、左右に振られないようにサイド盤を必ず固定して下さい。このとき、サイド盤をクロスに押し付けすぎないように固定します。



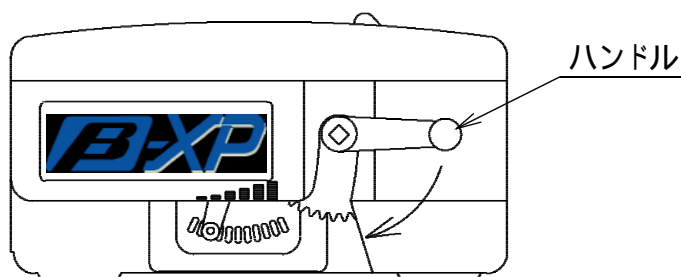
A部の芯棒受けと原反芯棒の間に手を挟まないよう注意して下さい。

## 各部の操作方法

### ハンドルの使い方

糊厚の調整時などクロスを通さずにローラーを回転させたい場合にはハンドルを取付けます。

付属のハンドルを糊付ローラーの軸に差し込んでご使用下さい。



注意

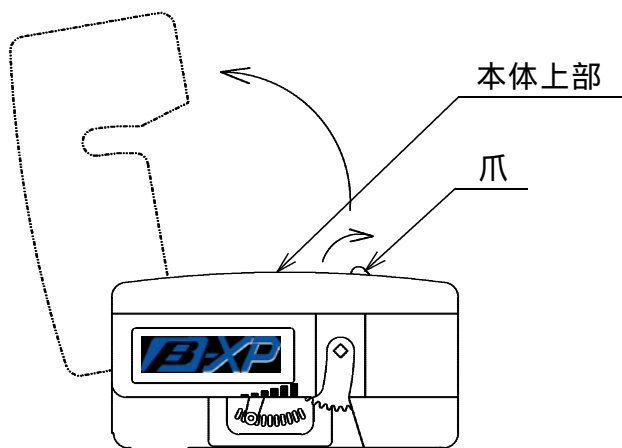
歯車部分を持って、直接手で回さないで下さい。機械が損傷したり、ケガをする恐れがあります。

### カバーの開閉

クロスを設定する場合や糊を供給する場合は本体上部を開いて作業します。

本体上部は、カバー上面の爪を左右同時に矢印の方向に倒し、カバーを上へ持ち上げると開きます。

閉じる場合は左右の爪がストッパーに引っ掛かるまできちんと閉めて下さい。



### カバーの外し方

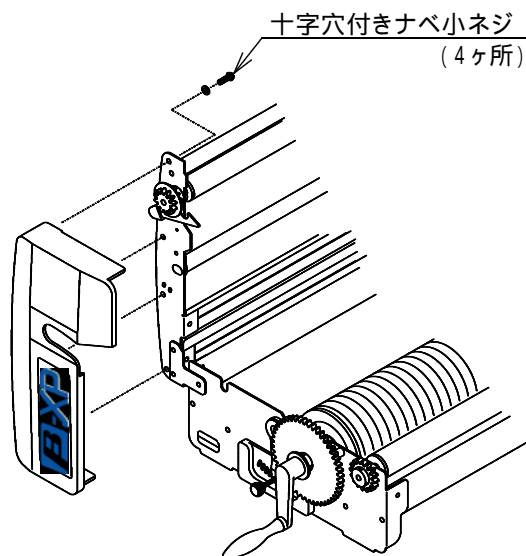
歯車位置の定期的なメンテナンスに際して上部のカバーは取り外すことができます。

カバーを取付けているビス(4ヶ所)をゆるめてカバーを取り外します。

メンテナンス完了後には取外した逆の手順でカバーを取付けて下さい。



ナラシローラー歯車、ドライブローラー歯車、糊付ローラー歯車(大)の位置調整は各歯車が正しく噛み合う位置で調整して下さい。

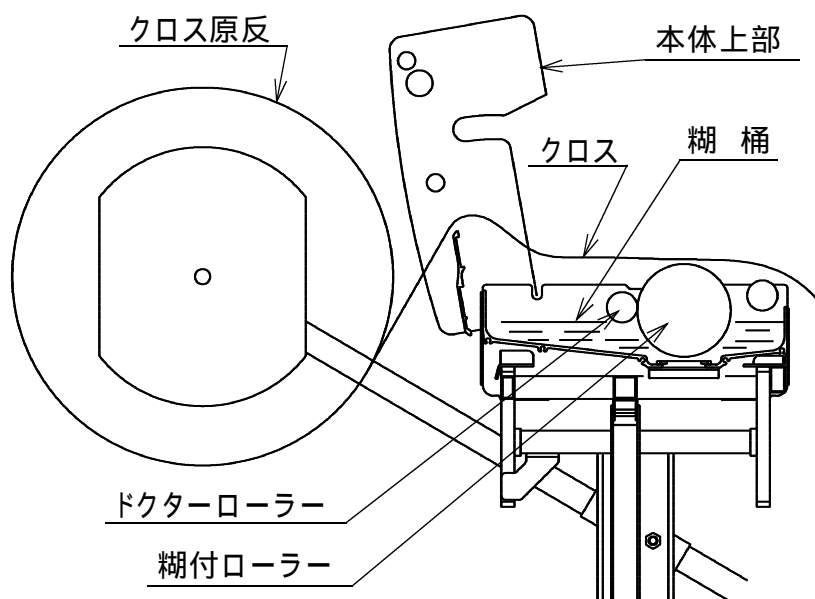




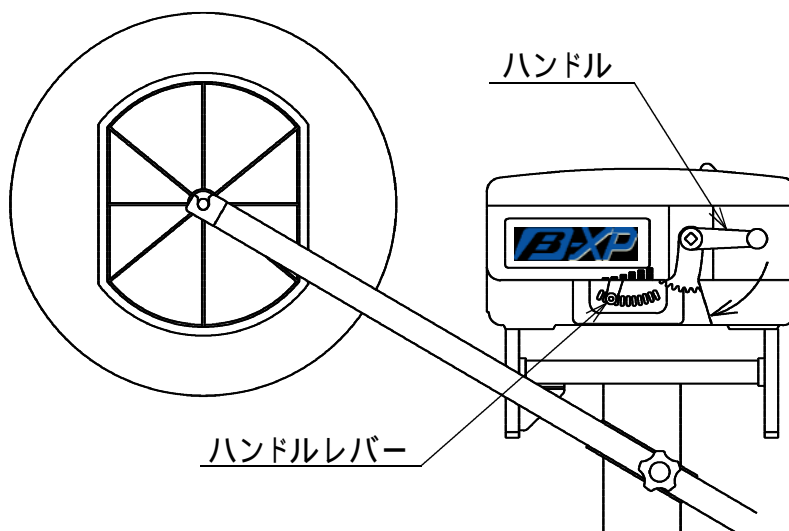
# 糊付作業要領

## 作業準備

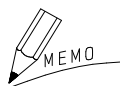
1. クロス原反を紙受けにセットします。
2. 本体上部を開けて、糊桶に糊を入れます。糊が糊箱全体に行き渡るように入れて下さい。



3. 本体上部を閉じ、糊厚の調整を行います。ハンドルを取付図の矢印の方向に回しながら糊厚調整用のハンドルレバーを動かして下さい。糊付ローラーとドクターローラーの隙間が変化し、糊厚を調整することが出来ます。



4. 再度、本体上部を開いて上図のようにクロスを通して、本体上部を閉じて下さい。



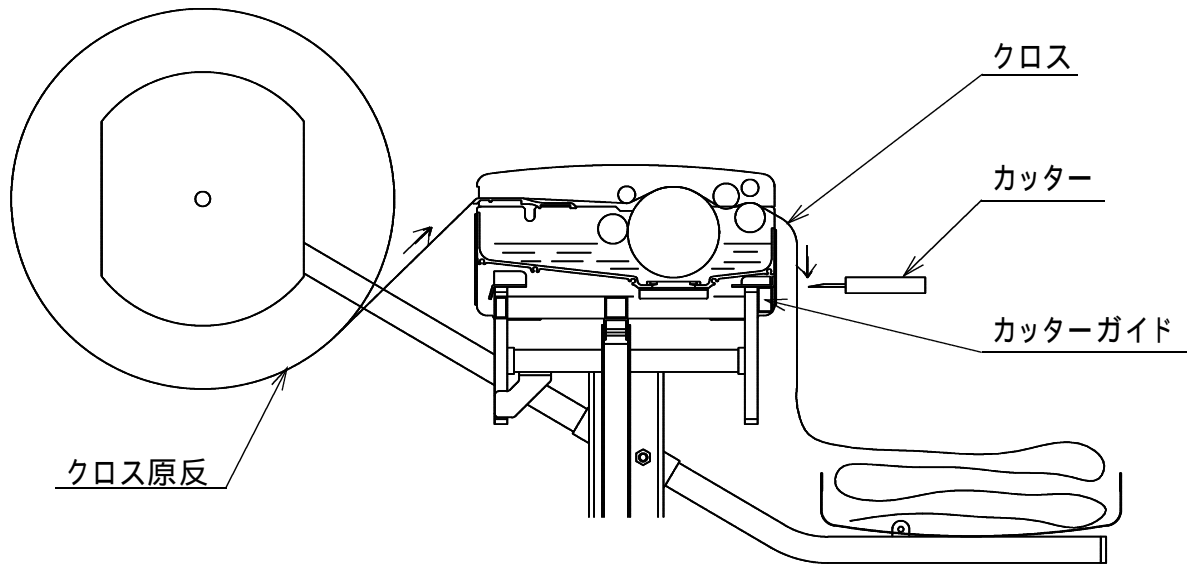
糊の充填量はドクターローラーの下面が上限です。それ以上は入れないで下さい。クロス引き出しが重くなり、クロスが破れる場合があります。また、作業中に糊があふれる場合があります。



全体の糊厚が均一になるように、左右の各ハンドルレバーを調整して下さい。

# 糊付作業要領

## 糊付作業

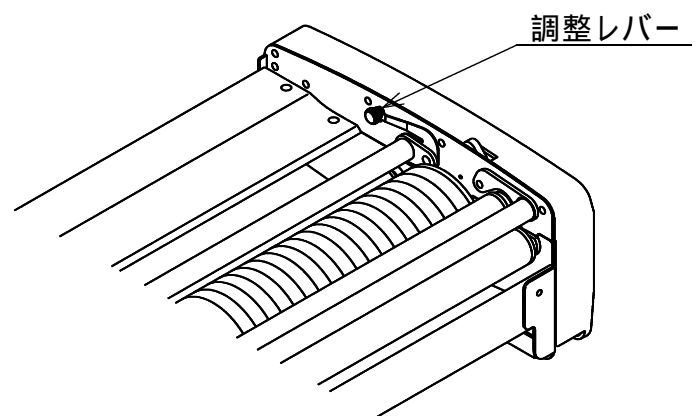


1. クロスの両サイドを手で持って、図の矢印の方向へ引き出します。  
このとき、クロスを均等な速度で左右同じ力で引き出せば、均一な糊付けが出来ます。
2. 引き出したクロスはカバーの上に図のように折りたたんで下さい。
3. 必要な長さを引き出した後、カッターガイドの上縁にカッターを沿わせて、クロスを実行します。

## カウンター取付けステーの位置調整

クロスの厚みに応じステーの高さを2段階で調整でき、同時にテンションの掛かり具合を調整することが出来ます。

位置を変えたいときは、左右の調整レバーを同時に動かして下さい。  
通常のレバー位置は上側で使用し、テンションの掛かり具合を強くしたい場合のみ調整レバーを下側にします。



注意

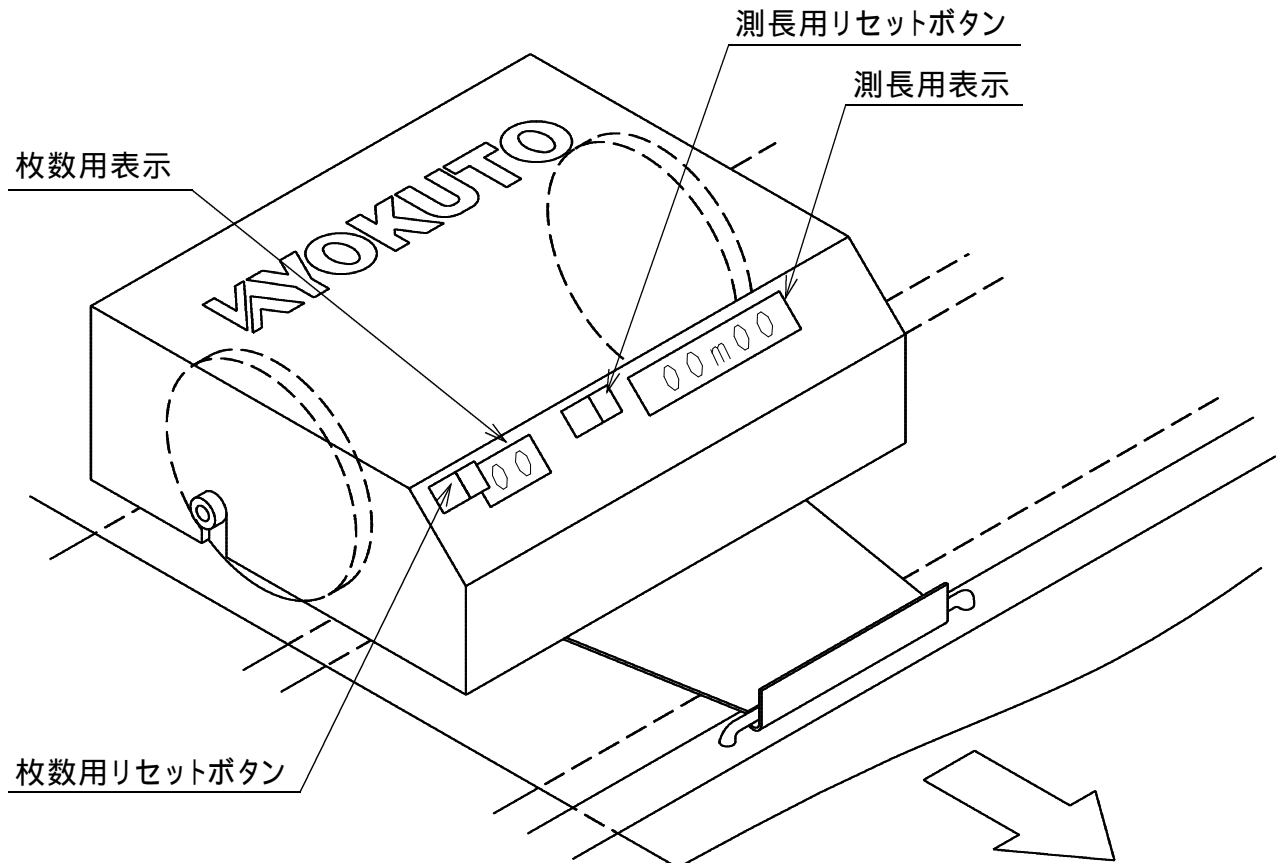
レバーを下側の位置にセットし使用する場合、クロスの引き出しが重くなります。クロスが破れないようにご注意ください。

## 糊付作業要領

### ダブルカウンター

ダブルカウンターをセットすれば、糊付けしたクロスの長さ枚数をカウントすることが出来ます。

- ・ 測長表示はクロスの引き出した長さを1 cm単位で表示し、測長用リセットボタンを押せば、測長値はゼロにリセットされ、同時に糊付枚数をカウントします。
- ・ 枚数表示は測長用リセットボタンを押すたびに枚数値が増えてゆき、枚数用リセットボタンを押せば、枚数値はゼロにリセットされます。



1. クロスをセットした後に、ダブルカウンターのフックをカウンター取付ステーに引っかけます。
2. クロス先端をカット位置まで引き出した後、測長用・枚数用の順番でリセットボタンを押して表示をゼロにセットします。
3. 糊付作業を行います。

例として、『2 mのクロスを5枚糊付する』場合、

- ・ 測長用表示が“0 2 m 0 0”になるまでクロスを引き出します。
- ・ クロスをカットし、測長用リセットボタンを押します。

測長用表示は“0 0 m 0 0”になり、枚数用表示が“0 1”となります。

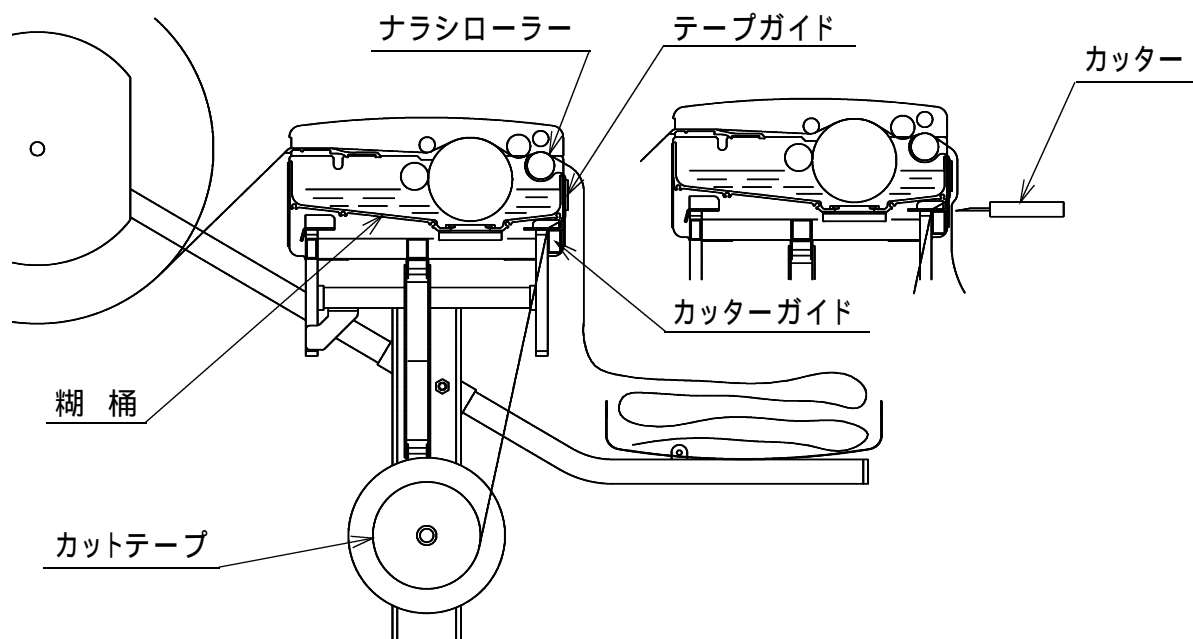
この手順を枚数用表示が“0 5”になるまで繰り返せば、2 mのクロスを5枚糊付出来ます。



注意

本体上部を開く時は必ずカウンターを取り外して下さい。  
ダブルカウンターが落下し、破損する恐れがあります。

**カットテープのセット**



1. カットテープの紙管内にテープ芯を入れ、これをサイド盤（小）で両側から挟み込み、カットテープ芯棒に取付けます。
2. 糊桶にテープガイドを引っかけます。
3. 図のようにカットテープはカッターガイドの後ろをくぐらせ、テープガイドに通します。その後、ナラシローラーの下をくぐらせて上へ引き出し、ドライブローラーとの間を通してセットします。
4. カットテープはクロスのカットと同時に行います。

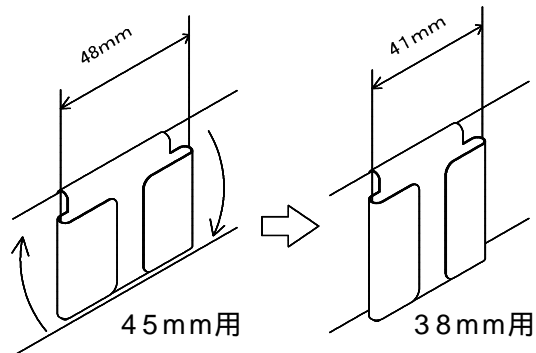


注意

ナラシローラーやテープガイドに付着した水や糊は、きれいに拭き取ってからカットテープをセットして下さい。

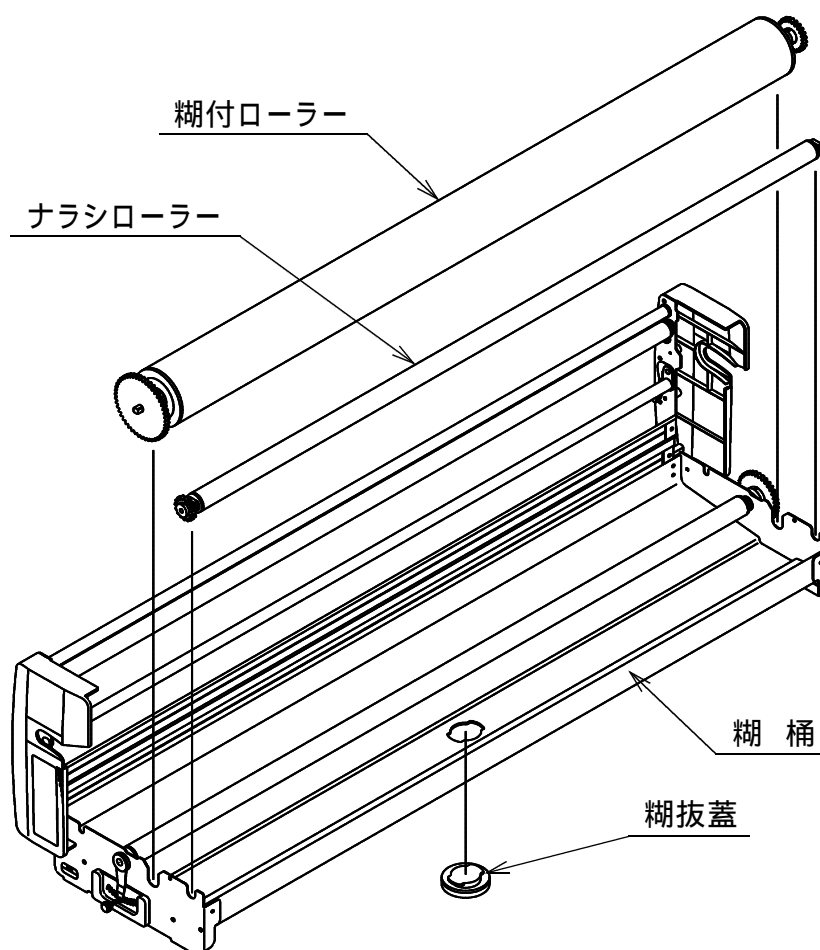


テープガイドは図のように、向きを変えることで2種類の幅のカットテープに使えます。ご使用のテープ幅に合った方向にセットして下さい。



## 本体部の掃除

掃除の程度が機械の性能と寿命に大きく影響します。作業が終われば掃除と手入れを充分に行ってください。



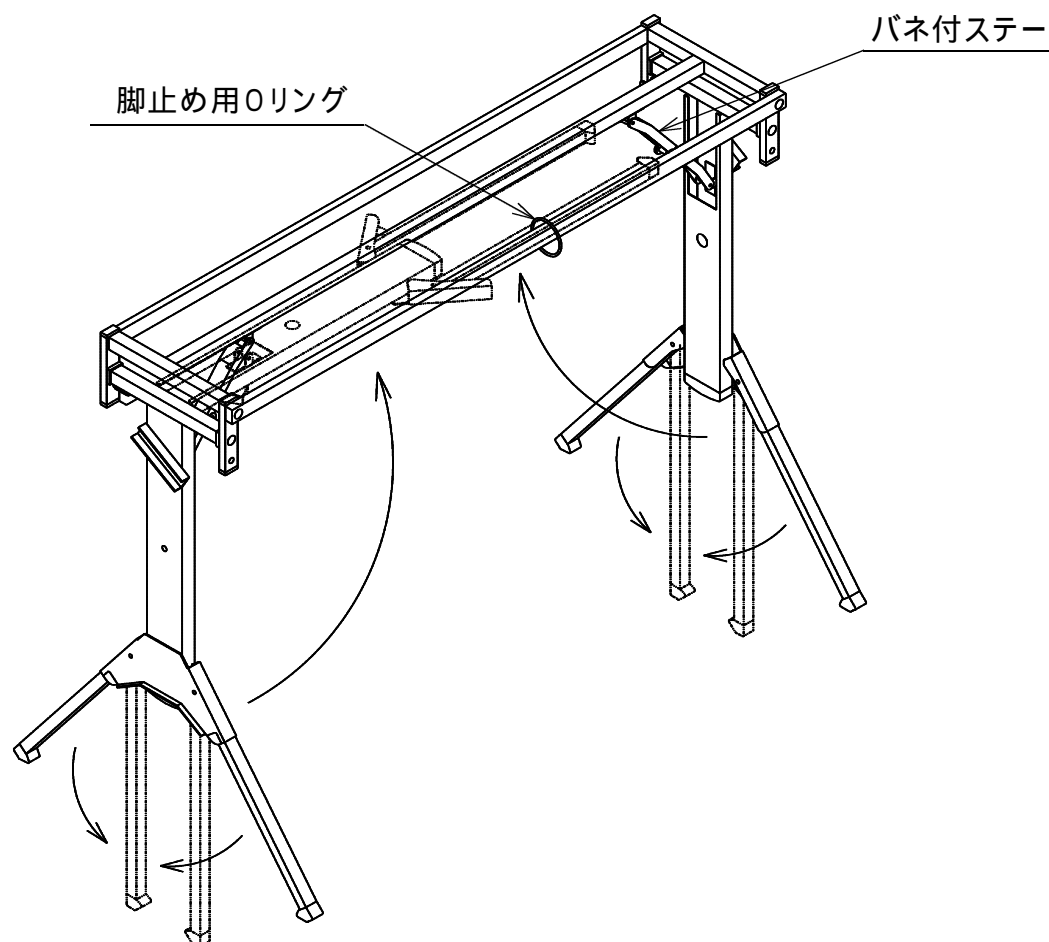
1. 本体上部を開きます。
2. 糊抜蓋を外し、糊桶内に残った糊を抜きます。
3. 糊付ローラー、ナラシローラーを取外して洗浄します。  
ローラーははめ込み式になっていますので、上へ持ち上げると外れます。
4. スポンジ等に水を含ませ、ローラーや糊箱に付着した糊をよく洗い流します。
5. 洗った後は乾いた布などで水分をよく拭き取ります。



ローラー表面の糊は完全に洗い落として下さい。洗浄が不完全な場合には次回の糊付作業に支障をきたす事があります。

## 収納及び運搬

作業後の収納は組立時と逆の手順で行います。



1. 全ての付属品を取外します。  
(ハンドル・カウンター・テープガイド・カットテープ芯棒・原反芯棒)
2. 脚部から本体を取外し、ノブボルトを緩めて紙受けを取外します。
3. 広がった脚を中央へ折りたたみ、その後、脚本体を折りたたみます。  
たたんだ脚はOリングで止めます。



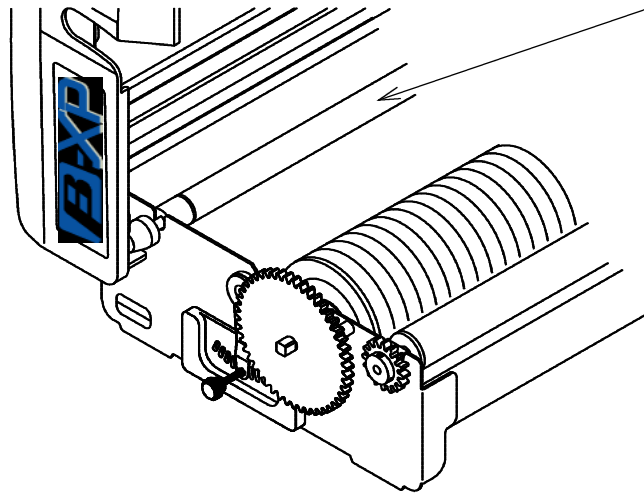
注意

脚折りたたみ時に、バネ付きステー部に指を挟まないよう注意して作業して下さい。

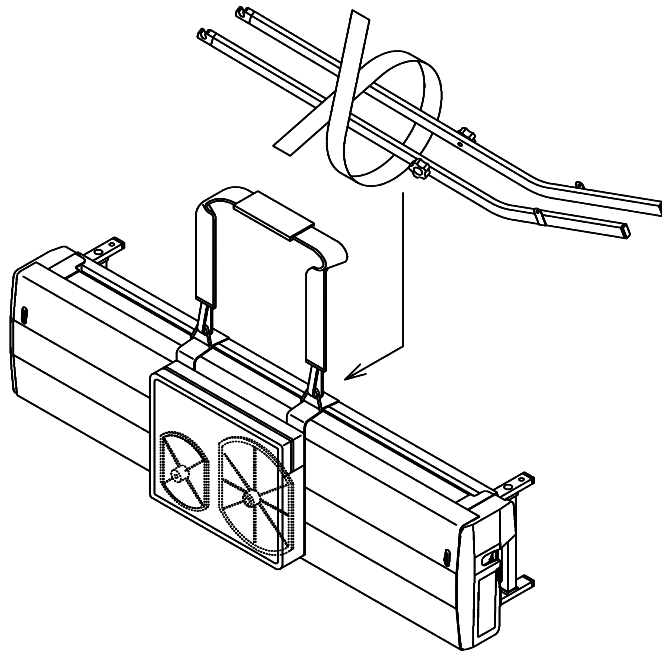


脚は図のバネ付きステー部分を内側へ折ってからたたんで下さい。

原反芯棒

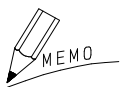


4．原反芯棒は図のように本体内部に収納します。



5．たたんだ脚の上に本体を乗せ、図のようにベータバッグのベルトで締め付けます。

6．ベータバッグのポケットにはカウンター、サイド盤、カットテープ芯棒等が収納できます。  
また、図のように収納すると、肩掛けにして作業場へ運搬できます。



ベータバッグで本体を締め付ける際には、紙受を一緒に包み込むように締め付ければ、本体と一緒に持ち運びができます。

## 調整と点検

本機を安全に長期間に亘りお使い頂くために、定期的に応じの点検や手入れを行って下さい。

1. 各部のネジのゆるみの確認  
ゆるみがあれば増し締めして下さい。
2. 歯車のセットボルトのゆるみ確認  
ゆるみがあれば増し締めして下さい。
3. 軸受メタルのガタの確認  
軸受メタルは消耗品です。ガタがあれば交換して下さい。

## 補修部品

部 品 名	品番及び図番	部 品 名	品番及び図番
ハンドル	A4536010001	脚先	A4546310001
ダブルカウンター	99-1012	テープガイド(38mm用)	99-3015
手動機用原反芯棒(22)	A4536000001	テープガイド(45mm用)	99-3016
サイド盤(原反芯棒用)	99-3025	テープガイド(50mm用)	99-3017
カットテープ芯棒(ストレート)	99-3009	テープガイド(60mm用)	99-3018
サイド盤(テープ用)2枚セット	99-3005	テープガイド(38/45mm用) 標準	99-3019
カットテープ芯	99-3010	平歯車(23T) 糊付(小)	A4546420101
紙受け(左)	A4535920001	平歯車(34T) ドクター用	A4546380101
紙受け(右)	A4535920002	平歯車(47T) 糊付(大)	A4546430101
芯棒受け	A4546300101	平歯車(12/14T) ドライブ用	A4546400101
メタル(ナラシ用)	A434043001	平歯車(14T) ナラシ用	A4546410101
メタル(糊付ローラー用)	A4546290001	糊拔蓋(パッキン付)	A4546460001
メタル(ドライブローラー用)	A434028001	バッグ	99-1016

## 仕様

製品コード : 051-0249-00  
外径寸法 : H1,000×D280×W1,200  
重 量 : 本 体 13.6 k g  
脚 9.6 k g  
総重量 23.2 k g  
糊付有効幅 : 1,070mm  
糊付容量 : 7リットル

製品仕様は改良等のため、予告無く変更する場合があります。



お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー



**極東産機株式会社**

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771  
URL <http://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

お客様相談室 0120-079177 (土・日・祝日を除く 10:00~18:00)